

令和 8 年 5 月 2 0 日

交 通 事 故 概 況

令和 8 年 4 月 末 計 上 数 (確 定 数)

警 察 本 部 交 通 部 交 通 企 画 課

北海道の交通事故概況（4月末計上数（確定数））

1 令和8年4月末の交通事故発生状況

区分\内容	4月中		4月末	
		前年比		前年比
発生件数(件)	616	23	3,215	571
死者数(人)	4	0	20	-16
傷者数(人)	723	37	3,821	721

[過去10年、4月末の推移]

区分\年別	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	過去平均		R8年
											10か年	5か年	
4月中死者数	14	7	3	11	8	8	10	4	11	4	8	7	4
4月末死者数	43	30	36	30	34	32	27	24	23	36	32	28	20
年間死者数	158	148	141	152	144	120	115	131	104	129	134	120	

都道府県別（4月中）

順位	1	2	4	17
都道府県名	東京	神奈川 兵庫	千葉 茨城	北海道
死者数	16	11	10	4

都道府県別（4月末）

順位	1	2	3	4	5	12
都道府県名	神奈川	東京	愛知	兵庫	千葉	北海道
死者数	51	48	47	43	40	20

2 交通死亡事故の発生状況（主なもの）

(1) 4月中の死亡事故（死者4人）

- 事故類型別：人対車両、正面衝突が各々2人(50.0%)
- 道路別：国道が3人(75.0%)、市町村道が1人(25.0%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点、市街地直線、非市街地直線、非市街地カーブが各々1人(25.0%)
- 発生時間別：18～20時が2人(50.0%)、6～8時、12～14時が各々1人(25.0%)
- 第一当事者年齢別：高齢運転者が2人(50.0%)、若年運転者、30歳代の運転者による死者が各々1人(25.0%)
- 第一当事者違反別：歩行者妨害、操作不適、前方不注意が各々1人(25.0%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が4人(100.0%)

(2) 4月末の死亡事故（死者20人）

- 事故類型別：
 - ・ 人対車両が10人50.0%（うち歩行者妨害が4人40.0%、前方不注意が3人30.0%）
 - ・ 車両単独が4人20.0%（うち安全速度が2人50.0%、操作不適、前方不注意が各々1人25.0%）
- 道路別：
 - ・ 国道が8人40.0%（うち人対車両、正面衝突が各々3人37.5%）
 - ・ 道道が5人25.0%（うち人対車両が2人40.0%、出会い頭、車両単独、踏切事故が各々1人20.0%）
 - ・ 市町村道が5人25.0%（うち人対車両が4人80.0%）
- 地形・道路形状別：
 - ・ 市街地交差点が7人35.0%（うち人対車両が5人71.4%）
 - ・ 市街地直線が4人20.0%（うち人対車両が3人75.0%、車両単独が1人25.0%）
 - ・ 非市街地直線が4人20.0%（うち人対車両2人50.0%、正面衝突、踏切事故が各々1人25.0%）
- 発生時間別：
 - ・ 8～10時が4人20.0%（うち人対車両、正面衝突、出会い頭、車両単独が各々1人25.0%）
 - ・ 18～20時が4人20.0%（うち人対車両が4人100.0%）
- 第一当事者年齢別：
 - ・ 高齢運転者による死者が6人30.0%（うち正面衝突が3人50.0%、車両単独が2人33.3%）
 - ・ 50歳代運転者による死者が4人20.0%（うち人対車両2人50.0%、車両単独、踏切事故が各々1人25.0%）
- 第一当事者違反別：
 - ・ 前方不注意が6人30.0%（人対車両が3人50.0%、正面衝突、車両単独、踏切事故が各々1人16.7%）
 - ・ 歩行者妨害が4人20.0%（うち人対車両が4人100.0%）
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が13人65.0%（うち人対車両が7人53.8%、正面衝突が3人23.1%）
 - ・ 50歳代の死者が3人15.0%（うち車両単独が2人66.7%、踏切事故が1人33.3%）
- シートベルト非着用者：
 - 自動車（二輪を除く）乗車中の死者10人中、シートベルト非着用者は6人(60.0%)であり、その5人(83.3%)がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

4月中の死者数は、札幌方面が3人(75.0%)、北見方面が1人(25.0%)となっている。

4月末の死者数は、札幌方面が9人(45.0%)、釧路方面4人(20.0%)、旭川方面が3人(15.0%)、函館方面、北見方面が各々2人(10.0%)となっている。

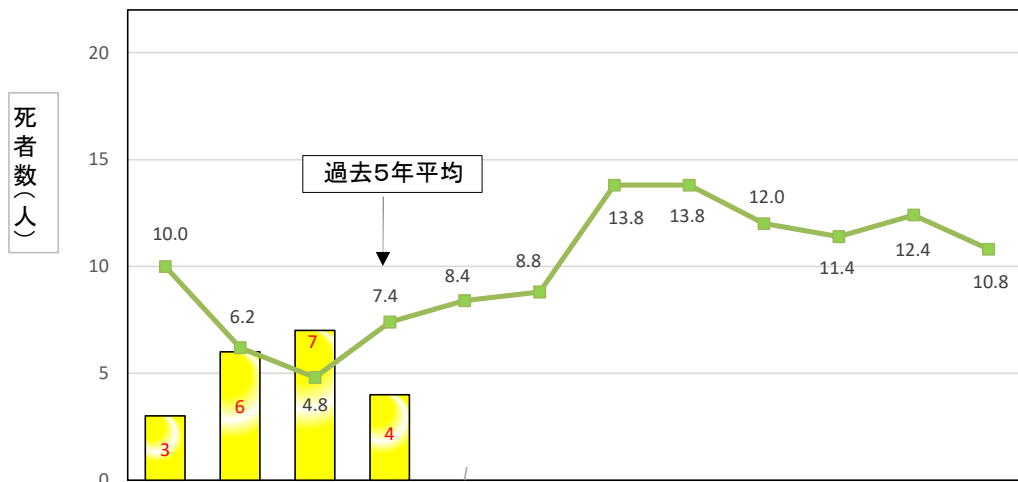
方面別\区分	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
全道	616	23	4		723	37
札幌方面	473	28	3	1	556	42
函館方面	37	7			44	5
旭川方面	47	1			57	3
釧路方面	44	-9		-1	48	-10
北見方面	15	-4	1		18	-3

方面別\区分	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
全道	3,215	571	20	-16	3,821	721
札幌方面	2,464	520	9	-9	2,944	675
函館方面	178	13	2		222	12
旭川方面	308	53	3		360	57
釧路方面	193	-17	4	-5	213	-24
北見方面	72	2	2	-2	82	1

(4) 月別発生状況の推移

4月中の死者数は4人で過去5年平均7.4人を下回っている。

4月末の死者数は20人で過去5年平均28.4人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和7年	3	6	7	4									20
年間累計	3	9	16	20									
過去5年平均	10.0	6.2	4.8	7.4	8.4	8.8	13.8	13.8	12.0	11.4	12.4	10.8	119.8
累計平均	10.0	16.2	21.0	28.4	36.8	45.6	59.4	73.2	85.2	96.6	109.0	119.8	

(5) 都道府県別死者数

4月中は東京都が16人で最も多く、次いで神奈川県、兵庫県が各々11人、千葉県、茨城県が各々10人、北海道は4人で17位となっている。

4月末は神奈川県が51人で最も多く、次いで東京都48人、愛知県が47人、兵庫県が43人で千葉県が40人、北海道は20人で12位となっている。

区分\都道府県	東京	神奈川	兵庫	千葉	茨城	愛知	福岡	三重	埼玉	京都	全国	北海道
4月中死者数	16	11	11	10	10	9	9	8	7	7	201	4
ワースト順位	1	2	2	4	4	6	6	8	9	9	-	17
前年比	3	2	3	1	-1	1	5	6	-3	3	5	0
増減率(%)	23.1	22.2	37.5	11.1	-9.1	12.5	125.0	300.0	-30.0	75.0	2.6	0.0

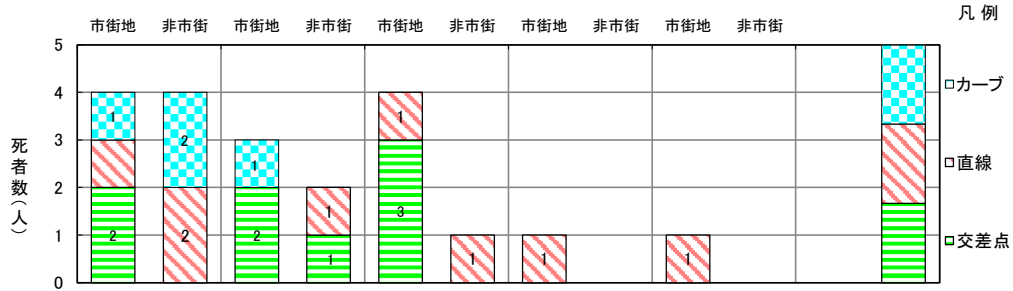
区分\都道府県	神奈川	東京	愛知	兵庫	千葉	茨城	大阪	福岡	埼玉	三重	全国	北海道
4月末死者数	51	48	47	43	40	39	36	33	26	25	797	20
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-	12
前年比	-1	0	14	12	-4	8	-2	6	-15	8	-13	-16
増減率(%)	-1.9	0.0	42.4	38.7	-9.1	25.8	-5.3	22.2	-36.6	47.1	-1.6	-44.4

3 4月末の死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が8人(40.0%)、道道、市町村道が各々5人(25.0%)となっている。

- ・ 国道は、市街地交差点、非市街地直線、非市街地カーブが各々2人(25.0%)
- ・ 道道は、市街地交差点が2人(40.0%)、市街地カーブ、非市街地交差点、非市街地直線が各々1人(20.0%)
- ・ 市町村道は、市街地交差点が3人(60.0%)、市街地直線、非市街地直線が各々1人(20.0%)

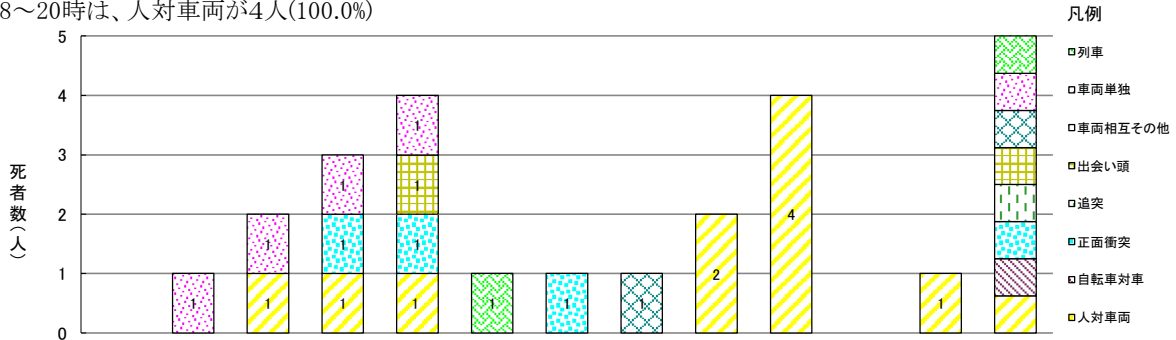


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	8	5	5	1	1	20
構成率(%)	40.0	25.0	25.0	5.0	5.0	100.0
過去5年構成率	34.5	27.5	28.2	3.5	6.3	100.0

(2) 時間別

8~10時、18~20時が各々4人(20.0%)となっている。

- ・ 8~10時は、人対車両、正面衝突、出会い頭、車両単独が各々1人(25.0%)
- ・ 18~20時は、人対車両が4人(100.0%)

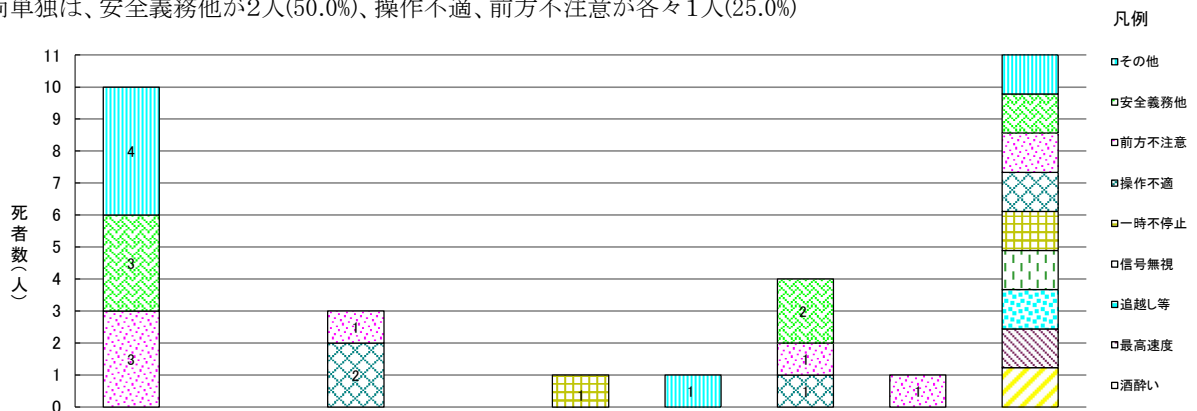


区分\時間別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	計
死者数	0	1	2	3	4	1	1	1	2	4	0	1	20
構成率(%)	0.0	5.0	10.0	15.0	20.0	5.0	5.0	5.0	10.0	20.0	0.0	5.0	100.0
過去5年構成率	3.5	1.4	7.0	7.7	8.5	12.0	13.4	11.3	12.0	12.7	6.3	4.2	100.0

(3) 事故類型別

人対車両が10人(50.0%)、車両単独が4人(20.0%)となっている。

- ・ 人対車両は、その他(歩行者妨害を含む)が4人(40.0%)、安全義務他と前方不注意が各々3人(30.0%)
- ・ 車両単独は、安全義務他が2人(50.0%)、操作不適、前方不注意が各々1人(25.0%)



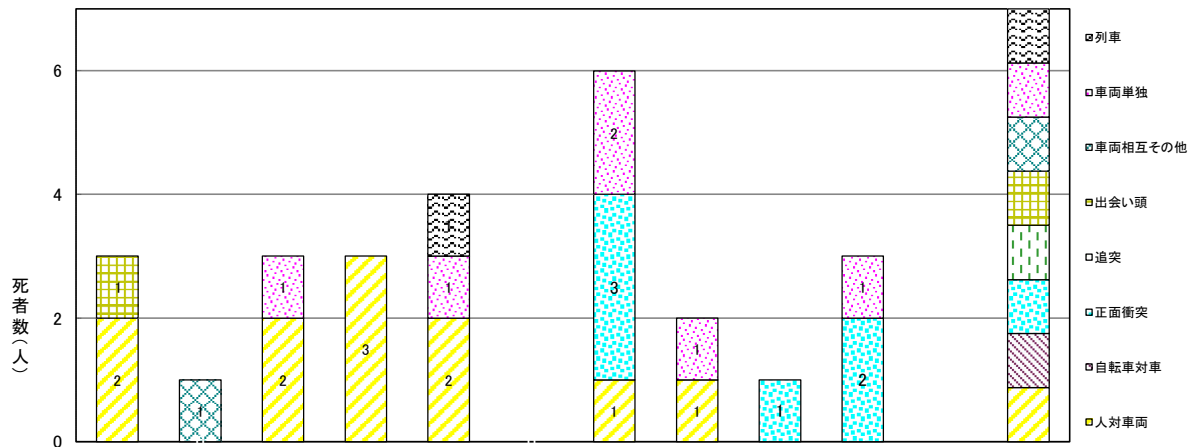
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	10	0	3	0	1	1	4	1	20
構成率(%)	50.0	0.0	15.0	0.0	5.0	5.0	20.0	5.0	100.0
過去5年構成率	33.8	2.8	23.2	1.4	10.6	3.5	23.9	0.7	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別:

高齢運転者が6人(30.0%)、50歳代の運転者が4人(20.0%)

- ・ 高齢運転者は、正面衝突が3人(50.0%)、車両単独が2人(33.3%)
- ・ 50歳代運転者は、人対車両が2人(50.0%)、車両単独、踏切事故が各々1人(25.0%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65-69歳	70-74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	3	1	3	3	4		6	2	1	3		20
構成率(%)	15.0	5.0	15.0	15.0	20.0		30.0	10.0	5.0	15.0		100.0
過去5年構成率	4.2	4.2	7.0	21.1	16.9	4.9	35.9	12.0	7.0	16.9	5.6	100.0

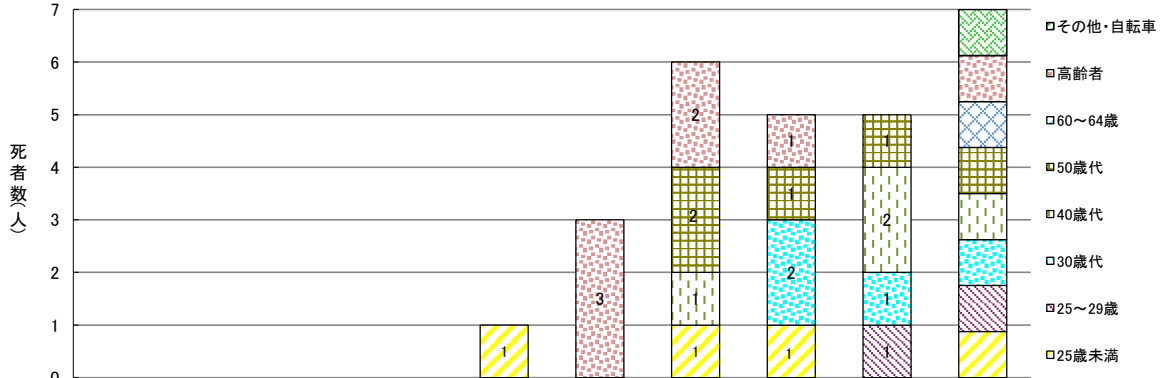
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反

前方不注意6人(30.0%)、安義その他、その他(歩行者妨害を含む)が5人(25.0%)となっている。

- ・ 前方不注意は、50歳代運転者、高齢運転者による死者が各々2人(33.3%)
- ・ 安義その他は、30歳代運転手による死者が2人(40.0%)
- ・ その他(歩行者妨害を含む)は、40歳代運転手による死者が2人(40.0%)

凡例



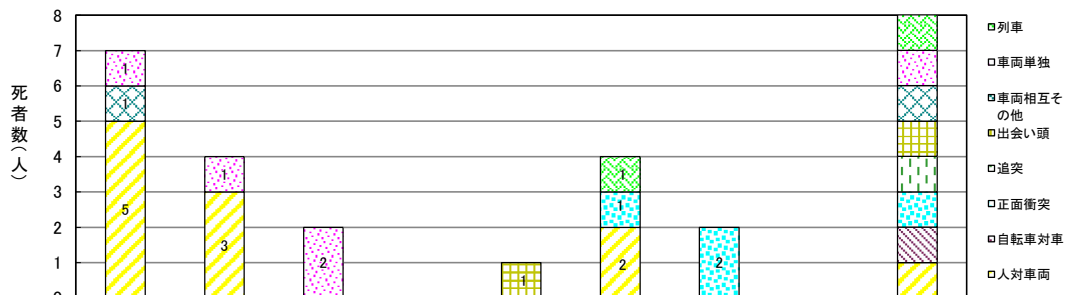
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数					1	3	6	5	5	20
構成率(%)					5.0	15.0	30.0	25.0	25.0	100.0
過去5年構成率	0.7	5.6	1.4	4.9	4.2	16.2	29.6	15.5	21.8	100.0

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が7人(35.0%)、市街地直線、非市街地直線が各々4人(20.0%)となっている。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が5人(71.4%)
- ・ 市街地直線は、人対車両が3人(75.0%)、車両単独が1人(25.0%)
- ・ 非市街地直線は、人対車両が2人(50.0%)、正面衝突、踏切事故が各々1人(25.0%)

凡例

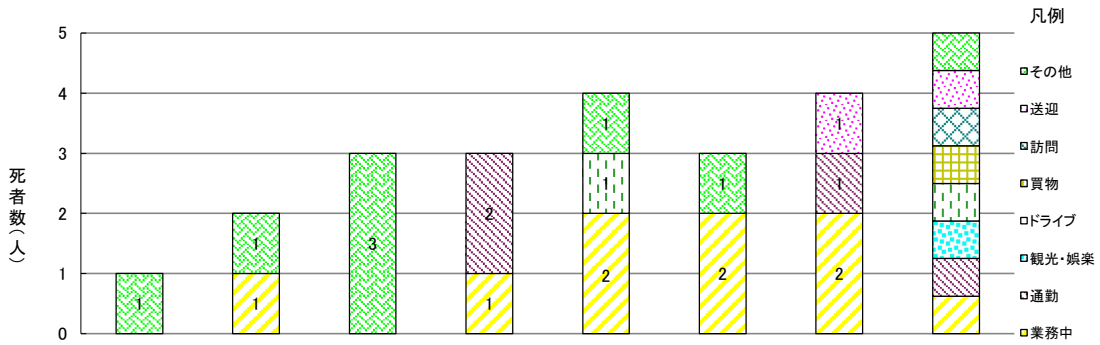


地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	7	4	2	13	1	4	2	7	20
構成率(%)	35.0	20.0	10.0	65.0	5.0	20.0	10.0	35.0	100.0
過去5年構成率	29.6	19.0	4.2	52.8	9.2	28.2	9.9	47.2	100.0

(7) 曜日別

木曜日、土曜日が各々4人(20.0%)となっている。

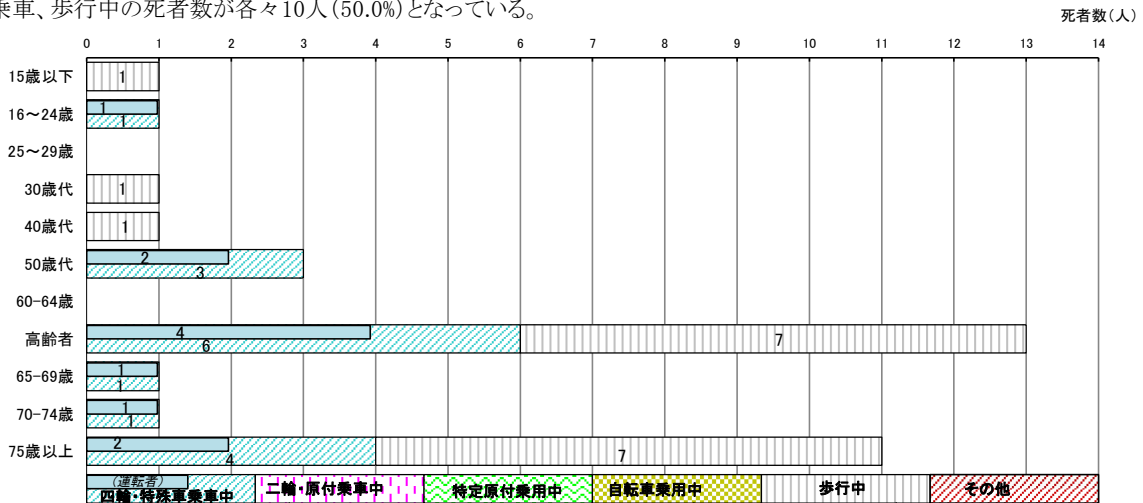
- ・ 木曜日は、業務中が2人(50.0%)、ドライブが1人(25.0%)
- ・ 土曜日は、業務中が2人(50.0%)、通勤、送迎が各々1人(25.0%)



区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	1	2	3	3	4	3	4	20
構成率(%)	5.0	10.0	15.0	15.0	20.0	15.0	20.0	100.0
過去5年構成率	9.2	15.5	18.3	12.0	12.0	20.4	12.7	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者が13人(65.0%)、50歳代の死者が3人(15.0%)となっている。
四輪乗車、歩行中の死者数が各々10人(50.0%)となっている。



状態別 年齢層別		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (一般原付を含む)	特定原付 乗車中	自転車 乗車中	歩行中	その他	計		
								構成率	5年構成率	
15歳以下	死者数					1		1	5.0	2.1
16~24歳	死者数	1						1	5.0	2.1
25~29歳	死者数									0.7
30歳代	死者数					1		1	5.0	7.7
40歳代	死者数					1		1	5.0	9.2
50歳代	死者数		3					3	15.0	12.0
60~64歳	死者数									6.3
高齢者	死者数					7		13	65.0	59.9
65~69歳	死者数	1						1	5.0	12.0
70~74歳	死者数	1						1	5.0	7.7
75歳以上	死者数	4				7		11	55.0	40.1
計	死者数	10				10		20	100.0	
	構成率	50.0				50.0		100.0		
	過去5年構成率	57.7	2.1		4.2	34.5	1.4	100.0		

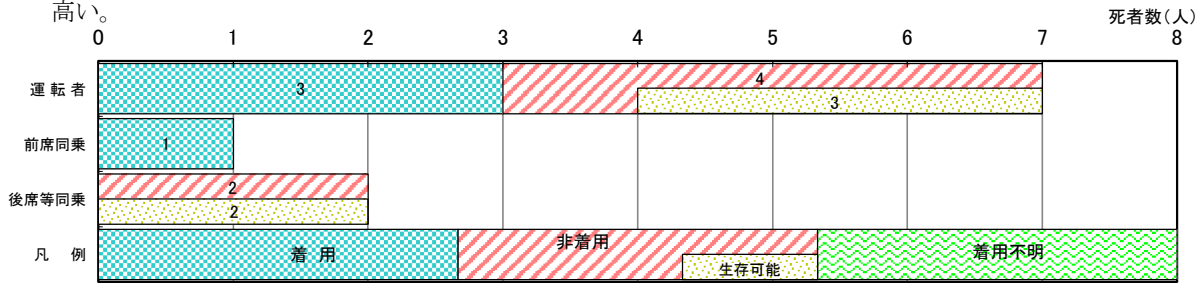
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者10人中、シートベルト非着用者は6人(60.0%)となっている。

非着用者の6人のうち5人(83.3%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪 乗車中 等	着 用			計	非 着 用			計	着 用 不 明
		計	運転者	同乗者 助手席 後部席		計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可		
令和7年	10	4	3	1	6	4	3	2	2	
構成率(%)	100.0	40.0	75.0	25.0	60.0	66.7	75.0	33.3	100.0	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が4人(66.7%)、50歳代が2人(33.3%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルム着用	1				1		2		1	1		4
構成率(%)	25.0				25.0		50.0		25.0	25.0		100.0
ヘルム非着					2		4	1		3		6
構成率(%)					33.3		66.7	16.7		50.0		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者6人の損傷加害部位をみるとハンドル、ドア・窓が各々2人(33.3%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
ヘルム着用			1			1				1			4
構成率(%)			25.0			25.0				25.0			100.0
ヘルム非着	1		2			2			1				6
構成率(%)	16.7		33.3			33.3			16.7				100.0
運転者	1		2			1							4
構成率(%)	16.7		33.3			16.7							66.7
同乗者						1			1				2
構成率(%)						16.7			16.7				33.3

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用者の合計数に対する割合。